

## 編輯後記

◎本會創立以來將に五ヶ年を経過せんとして居ります、昨年七月には内野先生が本學教授になられました。此の一月には、宮中御講書始の御儀に會長諸橋先生が御前に咫尺して講を進むるの光榮を擔はれました。うちつづくこの二つの慶びは、學會五ヶ年の成果を示し、又榮えある明日への希望を本學會に繋がせるものと存じます。而も、本年は、新に八名の卒業生を世に送る事となりました。何れも俊秀有爲の士、學會の進展は、益々、今後に斯して可なるものがありませう。

◎本號編輯に當りまして、御多忙中にも拘らず、内野先生、渡邊先輩の玉稿を賜りましたことを、厚く御禮申し上げます。編輯子不馴の爲、豫定通り進行せず、御覽の通りのものになりました。又卒業生全部の原稿を掲載し得なかつた事も自ら頗る遺憾として居る次第で御座います。深くお詫び致します。終りに臨み、會員一同の健康發展を御祈り申し上げます。

(昭和十二年二月二十三日)

## 漢文學會々報 第五號

昭和十二年三月廿日 印刷  
昭和十二年三月廿五日 發行

【非賣品】

東京文理科大學 漢文學會

編輯者 米 山 寅 太 郎

東京市荏原區戸越町一二九八

印刷所 市 川 印刷 所

電話荏原三二三二番

東京市荏原區戸越町一二九八

印刷人 市 川 茂 市

東京市小石川區大塚窪町

發行所 東京文理科大學漢文學會

### 東京文理科大學漢文學會會則

- 一、本會ハ東京文理科大學漢文學會ト稱シ、事務所ヲ東京文理科大學漢文學研究室内ニ置ク
- 二、本會ハ漢文學ノ研究及ビ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 三、本會ノ會員ハ左ノ人々ヲ以テ組織ス
  - 1 東京文理科大學及ビ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官ニ講師
  - 2 東京文理科大學漢文學科生及ビ卒業生
  - 3 東京高等師範學校文科第二部(國漢)生徒及ビ卒業生中漢文研究ニ篤志ナル者
  - 4 其ノ他ノ漢文學研究ニ篤志ナル者
- 四、本會ノ主ナル事業左ノ如シ
  - 1 研究發表會
  - 2 講演會
  - 3 研究旅行
  - 4 雜誌發行
  - 5 其ノ他必要ナル事項
- 五、本會ニ左ノ役員ヲ置ク
  - 1 會長一名
  - 2 顧問若干名
- 3 評議員若干名
- 4 委員十名
- 六、會長ハ本會ヲ代表シ、會務ヲ總理ス
  - 顧問ハ會長ノ諮詢ニ應ズ
  - 評議員ハ評議員會ヲ組織ス
  - 評議員會ハ會長之ヲ召集シ、重要ナル會務ヲ議ス
  - 會長ノ委囑ニヨリ評議員中一名ヲ會計監督トス
  - 委員ハ會長ノ指示ヲ受ケ、會ノ研究、會計、編輯ノ事務ヲ分擔ス
- 七、會長ニハ東京文理科大學漢文學科主任教授ヲ推ス
  - 評議員ハ東京文理科大學並ニ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官講師及ビ其ノ他ニツキテ會長之ヲ委囑ス
  - 顧問ハ評議員會ニテ之ヲ推薦ス
  - 委員ハ東京文理科大學漢文科學生中ヨリ六名、其ノ他ヨリ四名、會員ノ互選ニヨリテ選出シ其任期ヲ一ケ年トス、但シ重任ヲ妨ゲズ
  - 八、本會會則ノ變更ハ評議員會ノ議決ヲ經ベキモノトス
  - 九、會員ハ會費年額二圓ヲ納ムベキモノトス

以上